

表2-5-1 幼稚部幼児数

(単位：人)

年 度	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
聴覚障害	13	18	29	34	32	29	29	24	32	39

注：「学校統計要覧」(昭42～昭51)による。

表2-5-2 小学部児童数

(単位：人)

年度 障害種別	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
視覚障害	86	80	70	66	56	52	52	43	37	29
聴覚障害	212	188	163	149	138	132	118	115	107	105
精神薄弱	80	70	61	86	106	114	130	133	147	157
肢体不自由	188	197	178	181	194	185	191	183	183	180
病弱・虚弱	-	-	-	-	-	-	28	43	44	57
合 計	566	535	472	482	494	483	519	517	518	528

注：「学校統計要覧」(昭42～昭51)による。

表2-5-3 中学部生徒数

(単位：人)

年度 障害種別	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
視覚障害	66	71	72	72	61	51	35	22	17	24
聴覚障害	167	154	130	120	105	92	79	70	54	47
精神薄弱	56	62	67	88	99	74	94	77	75	70
肢体不自由	92	93	109	109	107	99	94	87	74	83
病弱・虚弱	-	-	-	-	-	-	14	19	23	44
合 計	381	380	378	389	372	316	316	275	243	268

注：「学校統計要覧」(昭42～昭51)による。

表2-5-4 高等部生徒数

(単位：人)

年度 障害種別	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
視覚障害	65	67	65	60	68	74	75	70	71	66
聴覚障害	60	66	70	79	79	75	69	60	56	57
精神薄弱	-	-	-	-	-	15	24	31	27	31
肢体不自由	21	33	32	32	32	49	36	42	43	49
合 計	146	166	167	171	179	213	204	203	197	203

注：「学校統計要覧」(昭42～昭51)による。

29人、105人となっている。

肢体不自由の就学児童数は、ほぼ一定の推移を示し、昭和51年度に180人となっており、また病弱・虚弱を対象とする養護学校は、昭和48年度に開校されたが、その就学児童数は昭和51年度において57人となっている。

一方、精神薄弱の就学児童数は、急速な増加状況にあつて、昭和51年度において157人となつ